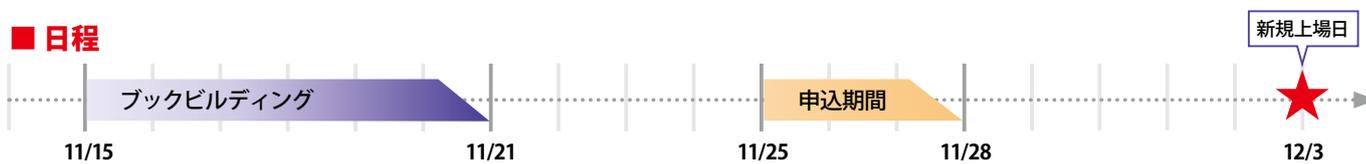


IPO銘柄 ライドオン・エクスプレス (6082・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
6082	100 株	公募: 25.0 万株 売出: 79.0 万株 (OA15.6 万株)	1,790 円 ~ 2,000 円 (16.4 倍)	野村証券

■ 日程



宅配寿司「銀のさら」など飲食分野で宅配チェーンを展開

■ 事業内容

寿司や釜飯などの宅配チェーンを展開。寿司の「銀のさら」を軸に釜飯の「釜寅」、宅配弁当の「銀のお弁当」、提携レストランの宅配代行サービス「ファインダイン」などを手掛ける。最大のブランドである「銀のさら」はクオリティにこだわった商品を手ごろな価格で提供。第2の業態である「釜寅」は釜飯形式の炊き込みご飯を薬味、だし汁、漬物と一緒に御膳形式で提供している。13年9月末現在の店舗数は「銀のさら」の362店を中心に562店で、うち7割程度がFC（フランチャイズチェーン）店。宅配事業の単業態。

■ 特徴

宅配事業は他の外食企業と異なり宅配拠点の立地優位性を優先する必要がなく、物件の確保が容易。店舗面積による影響もないため、繁忙期にはアルバイトの増員などを行うことで売上の最大化も図りやすい。配達時に住所、電話番号を登録することで顧客情報を保有でき、これらの情報を活用することで、費用対効果の高いマーケティングを可能としている。

アナリストコメント

■ 定量分析

14年3月期の非連結経常利益は前期比69.1%増の9億100万円を計画する。積極的な新規出店を行うことで売上高を伸ばす一方、各業態で人気商品を活用したキャンペーンを実施し顧客満足度の向上に尽力。高い成長率を見込んでいる。

■ 定性分析

上場する外食企業は多いものの、宅配専門は希少。効率的な経営が評価されそうだ。アベノミクス政策を背景とした消費回復の恩恵を受けるとともに、宅配弁当ではシニア層向け、介護施設向けの販売促進を強化している。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は約24億円。小型案件の範囲を超える規模だが、IPOへの投資家の注目度は高く荷持たれ感はずいぶん強い。IPO案件数の増加による資金分散はあるが、下値不安は大きくないとみる。（小泉健太）

■ 類似企業

ライドオン・エクスプレス(6082・マザーズ)	予想PER16.4倍 (仮条件上限)
くらコーポレーション (2695・東証1部)	予想PER16.0倍
エー・ピーカンパニー (3175・東証1部)	予想PER26.1倍

■ 引受証券

野村証券、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、みずほ証券、SBI証券、いちよし証券、SMBC日興証券、マネックス証券、岩井コスモ証券、エース証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
12年3月期(実績)	14,684	14.1	335	32.7	71	41.4	22.4	—
13年3月期(実績)	16,133	9.9	533	59.1	230	3.2倍	69.2	—
14年3月期(会社予想)	16,583	2.8	901	69.1	510	2.3倍	122.1	—

※ 13年8月に株式分割(1株→200株)を実施。12年3月期、13年3月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
12年3月期	16,500	4,463	701	312	211.8	15.7	11.2
13年3月期	16,700	4,307	958	325	285.9	22.2	27.9

※ 12年3月期および13年3月期のBPSは遡及修正

大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	ジャフコV2共有投資事業有限責任組合	1,550,800	31.07
2	江見 朗	1,331,400	26.67
3	イーエムアイ	630,000	12.62
4	松島 和之	300,400	6.02
5	渡邊 一正	230,000	4.61
6	富板 克行	218,000	4.37
7	水谷 俊彦	143,000	2.86
8	ジャフコV2-W投資事業有限責任組合	137,600	2.76
9	ライドオン・エクスプレス従業員持株会	133,000	2.66
10	赤木 豊	79,000	1.58

経営陣

役職	氏名
代表取締役社長 兼 CEO	江見 朗
取締役副社長兼COO 営業部門統括	松島 和之
専務取締役兼CFO 経営企画/経営支援部門統括	渡邊 一正
常務取締役 銀のお弁当事業担当	富板 克行
常務取締役 あげ勝・カレーキャリア事業担当	水谷 俊彦
取締役 WEB事業/システム領域・ファインダイニング事業担当	赤木 豊
監査役(常勤)	清野 敏彦
監査役(非常勤)	瀧谷 啓吾
監査役(非常勤)	岩部 成善

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO^(※1) レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング^(※2) が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。

本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、モーニングスター株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar.inc に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載していません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社 SBI証券 金融商品取引業者

登録番号：関東財務局長（金商）第 44 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会